

前橋版 CCRC 構想に係る基礎調査業務の実施結果について

政策部政策推進課

1 目的（背景）

- ・国は、生涯活躍のまち（日本版 CCRC※）構想を掲げ、「主に東京圏の高齢者が、希望に応じ地方に移り住み、地域住民や多世代と交流しながら健康でアクティブな生活を送り、必要に応じて医療・介護を受けることができるような地域づくり」を目指している。
- ・本市では、県都まえばし創生プランにおいて、健康医療都市の強みを活かしたシンボル事業の一つとして、「前橋版 CCRC 構想」を位置づけ、全市域を対象に、「市民誰もが、住み慣れた場所で、生きがいを持って、生涯活躍できるまち」の実現を目指すこととしている。
- ・本調査は、上記構想の実現に向け、市全体を対象とした CCRC のイメージとともに、前橋赤十字病院移転後の跡地をその拠点としていくための基礎調査を行うものである。

（※）Continuing Care Retirement Community

直訳すれば、継続したケア（保健・医療・福祉）を行う退職者のコミュニティ

2 主な調査項目及び結果

（１）ニーズ測定 ※詳細は、別添「前橋版 CCRC 基礎調査（概要）」P7～

①地方移住の意向

一都三県（48,510 人）に在住する方に対して、地方への移住意向を尋ねたところ、以下の結果が明らかになった。

- 東京圏在住者で、地方への移住意向があるのは約 4 分の 1（22.1%）
- 性・年代別でみると、女性よりも男性、50-60 代のアクティブシニアよりも 25-49 歳の若年・子育て層で意向が強い

②群馬県への移住意向

①のうち地方等への移住意向がある方（10,711 人）に対して、移住先候補地を尋ねたところ、以下の結果が明らかになった。

- 移住候補地としては、沖縄県（10.5%）、北海道（9.0%）、長野県（7.7%）が多い
- 北関東エリアの中では群馬県を第一候補とする人が約 3.4%で最も高い（栃木県 1.7%、茨城県 1.2%）

③前橋版 CCRC への関心

前橋市縁ゆかり層及び北関東移住意向あり層^(※)（計 928 人）に対して、前橋版 CCRC への関心を尋ねたところ、以下の結果が明らかになった。

○前橋版 CCRC に「関心がある」、「どちらかといえば関心がある」と答えた割合は、前橋市縁ゆかり層では約 6 割（59.2%）、北関東移住意向あり層では約 8 割（78.4%）と、総じて高い関心が寄せられた

(※) 前橋市縁ゆかり層：上記①のうち、出身、在住経験あり、配偶者出身など

前橋市に縁ゆかりがある方

北関東移住意向あり層：上記①のうち、移住の候補地に群馬県・栃木県・茨城県のいずれかが含まれる方

○両方の層において、CCRC のコンセプトのうち最も関心を集めるのは、「いざという時でも安心な医療介護」であり、次に、「ライフステージ・価値観にあわせて選択できる住まい」、「希望するライフスタイルを実現」などと続く

○また、CCRC に求める機能は、「医療」、「生活支援サービス」、「サービス付高齢者住宅等の住宅整備」などが高い

(2) 効果試算 ※詳細は同 P24～

- ・移住者の受け入れに伴って生じる市の財政への影響等を把握するため、3つの移住シナリオ（①多世代まちなか型、②多世代全市型、③単身高齢者型）を設定し、シミュレーションを実施した
- ・全てのシミュレーションにおいて、市の医療介護費負担累計額を上回る経済波及効果が見込まれた

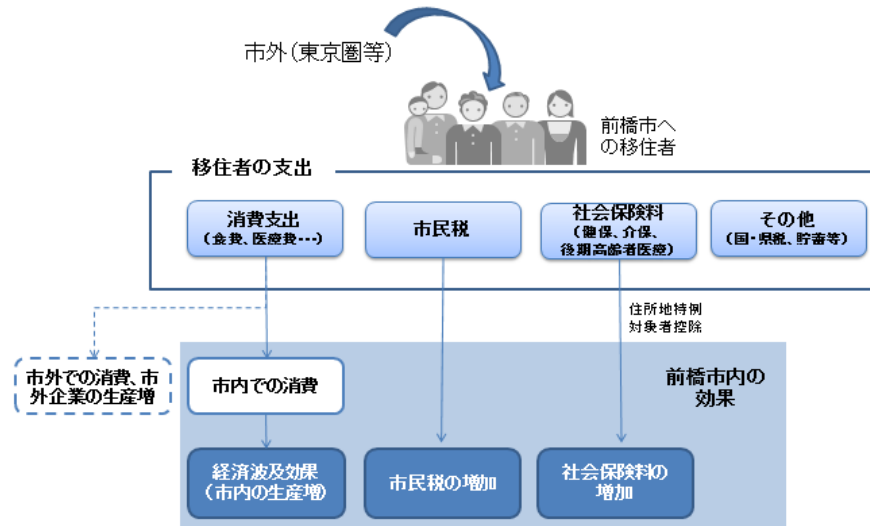
【経済波及効果と市負担額の差】※政策実施期間：5年間、政策効果計算期間：50年間

	①多世代まちなか型 (270 人, 25-69 歳)	②多世代全市型 (560 人, 25-69 歳)	③単身高齢者型 (160 人, 50-79 歳)
経済波及効果 (A)	73.2 億円	154.7 億円	22.0 億円
市の医療介護費負担累計額 (B)	4.2 億円	8.8 億円	6.6 億円
(A) - (B)	69.0 億円	145.9 億円	15.4 億円

【その他効果】

	①多世代まちなか型 (270 人, 25-69 歳)	②多世代全市型 (560 人, 25-69 歳)	③単身高齢者型 (160 人, 50-79 歳)
雇用誘発数	2,872 人	6,080 人	1,356 人
社会保険料収入	42.8 億円	89.8 億円	6.4 億円
市民税収入	19.6 億円	41.5 億円	3.1 億円

(参考：イメージ図)



(3) 事業モデルの検討 ※詳細は同 P30～

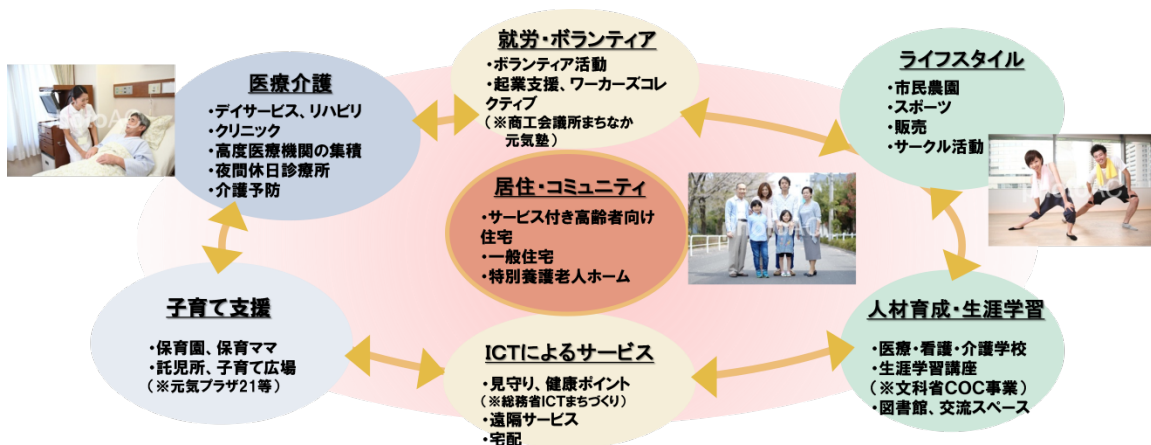
①前橋版 CCRC の目指す姿

- 自然環境と医療の充実をベースに、地域特性に応じた CCRC を展開し、東京圏からの高齢者及び子育て層を呼び込む
- 安心・健康・快適な住環境を実現し、市民も生活の質の向上を享受
- 健康、予防等の新たなサービス提供を 地域の雇用創出につなげる

ア 全市への展開方針

- ・市内には、地域包括支援センターを中心に、在宅での介護をサポートする基盤が構築されている。
- ・こうした土台の上に、子育てや教育（人材育成）、地域の生活支援や交流機能を担う CCRC の拠点を設けることで、いわば「次世代型地域包括支援ケアシステム」を構築し、市内各地域の生活の質を向上させていくことが考えられる。

(参考：前橋版 CCRC で提供する機能のイメージ)



イ 各地域への展開例

先行して事業化の検討が進む都心部の日赤跡地をモデルとし、市内各地域の地域特性を踏まえ、他の地域の核（地域核等）に拠点を整備していくことが考えられる。

・北部地域（例：富士見・宮城・粕川・大胡・芳賀）

恵まれた自然環境を活かした趣味や就農等の移住者受け入れの CCRC

・中心部（例：本庁地域・元総社・東）

各種都市機能が集積するまちなかに程近く、高齢化が進行していることを踏まえた移住者と地域住民が交流・活用する産業創出・人材育成拠点を含む CCRC

・郊外部（例：桂萱・永明・城南・上川淵・下川淵・南橋・総社・清里）

田園と住宅等が混在する郊外部では、空き家等を活用した子育て層を中心にアクティブシニア層も含めた住まいと生活サポート拠点を形成する CCRC

②日赤跡地での事業モデル

- まちなかでの医療介護拠点到にふさわしい立地を活かして、前橋版 CCRC の先駆的拠点として、市内に先駆けてモデルを構築する
- CCRC の基本機能である、住まい、医療介護、教育（就労）に加え、「前橋ならではの」の付加価値をつける
- 具体的には、東京圏からの移住者の受け入れとともに、高齢化が進行する周辺地域の生活サポート機能、居住者や地域住民がいきいきと活動することができる交流拠点を形成し、対外的なPRにもつながる魅力を発信する

ア 基本機能

○住まい

- ・高齢者向け住まい（特別養護老人ホーム、サービス付高齢者向け住宅）
- ・子育て層を含む広く一般に向けた住まい（戸建中心）

○医療介護

- ・地域の安心を支える在宅介護や子育てを支える機能（デイサービス、リハビリ、訪問サービス拠点とこれらの相談を含む地域包括支援センター）

○生きがい創出（ライフスタイル、人材育成・生涯学習）

- ・生涯教育、就労による生きがい創出、各種活動の担い手育成のための市民大学機能

イ 追加機能（付加価値）

○住まい

- ・集合住宅（転勤者、お試し居住、医療観光者等向け施設）

○医療介護

- ・健康維持増進（食、アンチエイジング、運動等）

○生きがい創出（ライフスタイル、人材育成・生涯学習）

- ・市内の農産品等のマルシェ、豚等の地域資源を活用した飲食店の出店、イベント機能
- ・まちなかとの連携によるまちづくり活動
（学生居住・シェアハウス、まちなか研究室との連携等）

○その他生活環境

- ・地域の生活サポート機能
（子育て、買い物支援・日常生活サポート、見守り等）
- ・駅や市内の移動のための交通環境の確保

※留意すべき事項

事項	内容
①民間資金の導入、 財政負担の抑制	日赤、前橋市の双方にとり、敷地が有効活用され、民間事業者への売却等により財政負担を抑制すること
②CCRC としての事業性	民間事業者が参入するだけでなく、継続的に運営されること、そのための需要にあった事業であること
③地域への貢献	地域包括ケア、子育て支援の充実、雇用や生きがい創出等の新たな価値の提供によって地域住民の利便性、暮らしやすさが高まることが必要であり、地域の利用にも資するものであること
④病院の移転スケジュールとの整合性	平成 30 年 6 月の移転後、速やかに土地活用が図られ、日赤の新病院の運営に支障がないこと

3 今後の展開

（１）協議会の設置

地域の産業界、大学、行政、金融機関、メディア等のほか、エリア全体を調整しうる者を含めた協議会を設置する。

（２）構想及び基本計画の策定

協議会における議論を踏まえながら、構想及び基本計画を策定する。

(3) スケジュール（想定）

	H28		H29	H30	H31
アクション	協議会設立	協議会運営	役割分担協議 ・計画公募	契約等	
計画等		構想・ 基本計画案	事業計画案	事業着手	

※上記スケジュールは現段階での見込みであり、今後変更になることがあります

前橋市役所政策部政策推進課
〒371-8601 前橋市大手町二丁目 12-1
TEL：027-898-6512
FAX：027-224-3003
E-Mail：seisaku@city.maebashi.gunma.jp